

公共事業事前評価調書(令和4年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:企画調整班

事業名	沖縄嘉手納線(池武当工区)道路整備事業		事業区分	道路 (社総金)	事業主体	沖縄県
事業箇所	沖縄市八重島～知花					
事業の諸元	一般部含む 延長L=約1.5km、W=28.0～33.7m 高架橋 延長L=約0.6km、W=15.0m					
事業の概要	本事業は、ハシゴ道路ネットワークの構築を図るために整備する池武当IC設置に伴い発生する渋滞対策として、沖縄環状線の池武当及び池武当東交差点の改良を行うものである。					
事業の必要性・効果等	<必要性等> 沖縄環状線と沖縄嘉手納線が接続する池武当交差点及び池武当東交差点は、池武当ICの整備に伴い、交通負荷の著しい増加によって、慢性的な交通渋滞の発生や沿道環境の低下が強く懸念されており、両交差点を改良する必要がある。 <効果等> 本路線の整備により、両交差点の交通負荷が軽減され、渋滞緩和に大きく寄与する。また、本路線の整備により、沖縄自動車道と中城湾港新港地区のアクセス性が向上することから、物流の効率化や産業振興に大きく寄与する。					
事業期間	事業採択	令和4年度	完了(予定)	令和12年度		
全体事業費	64(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C	総便益:B	50.4(億円)	総費用:C	46.0(億円)	基準年
	= 1.10	走行時間短縮便益	33.2 億円	事業費	45.8 億円	令和 2年度
		走行経費減少便益	11.6 億円	維持管理費	0.3 億円	
		交通事故減少便益	5.6 億円			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄県総合交通体系基本計画に基づくハシゴ道路ネットワーク構築の一環である池武当ICの整備に本道路整備は不可欠なものであり、一体となって整備することから、上位計画との整合性は図られている。					
環境への配慮	高架橋について景観に配慮した設計にするとともに、植樹帯設置や低騒音舗装施工により良好な沿道環境を創出する整備を行う。					
関係する地方公共団体等の意見	池武当ICの整備については、沖縄市が平成26年度から30年度に掛けて検討を実施して構想案を取りまとめ、平成30年6月に整備に関する要請書が県に出された。また、令和2年6月に沖縄市も委員である池武当IC整備検討委員会で改良案が了承された。					
概要図(位置図)						